



隨神門 平成20年(2008)撮影



拝殿



鬼神帝釈天の露座立像

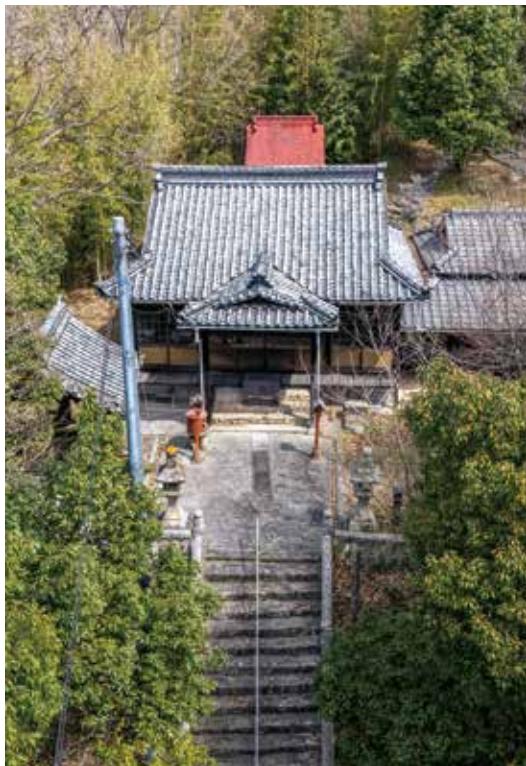
帝釈天縁起

平清盛全盛の1177年(平安時代)、平家討伐企ての罪で当地に流刑となった藤原大納言成親を、ふもとの正法寺に祀った。後に成親の信仰していた帝釈天庚申信仰の場となった。正法寺には藤原大納言成親を弔い、外には帝釈庚申天を祭祀して現在に至る。

1755年～1762年 庚申山、山頂に帝釈天を移す
1773年 二天門、210段の石段、梵鐘完成
1950年(昭和25年) 大東亜戦争に供出の梵鐘再建
1955年(昭和30年) 鬼神帝釈天の大立像建立
(正法寺門前の縁起板より)

5 正法寺を参照

石段・拝殿・本殿



石段手摺建設碑



進寄



辻姫龍神 幅490×高さ1030、台座:820角×高さ820



庚神池改築碑 幅460×高さ1240



「辻姫龍神(つじひめりゅうじん)」は、龍神や姫神が庚申信仰と結びついて辻や村境に建てられ、悪霊や災厄から地域を守る役割を担ってきた。裏面には「日鳳代」の銘がある。

隨神門



令和7年(2025)撮影



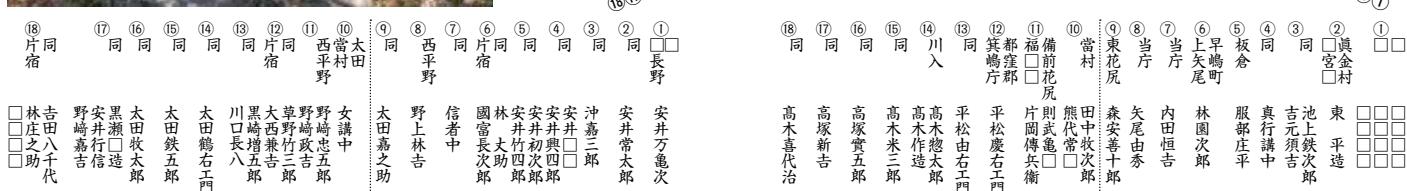
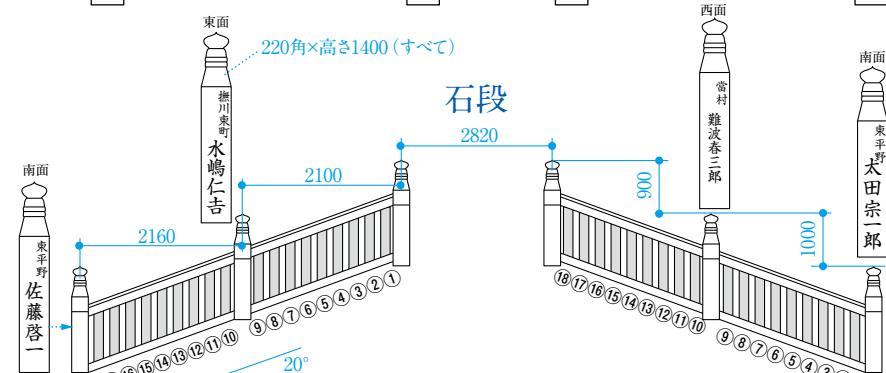
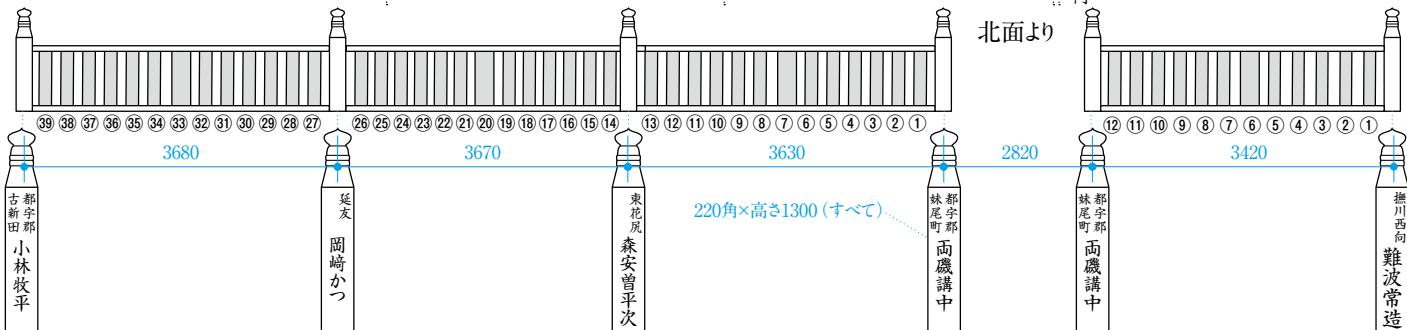
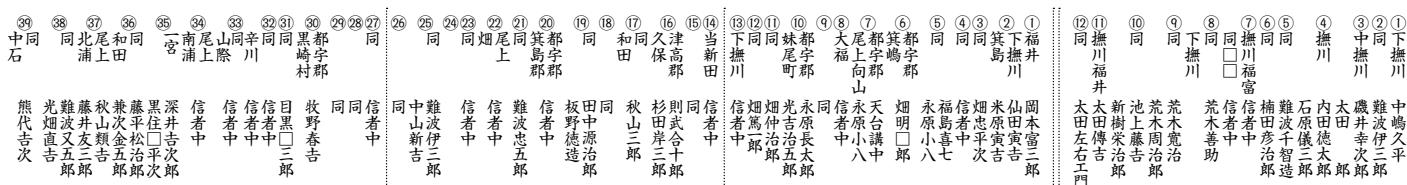
隨神門內 毘沙門天-阿



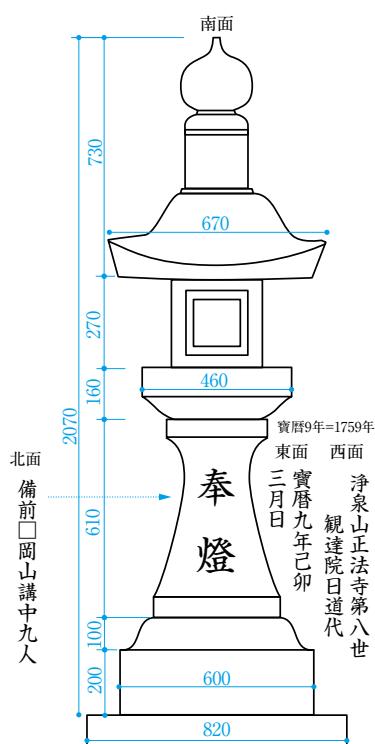
持国天-吽



玉壙



石灯籠(西側)



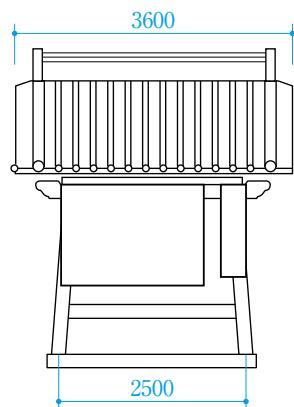
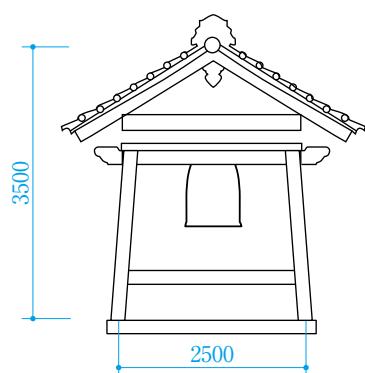
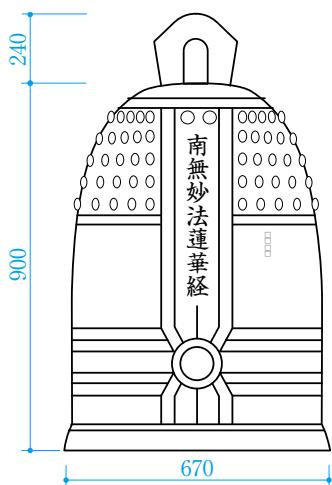
石灯籠(東側)



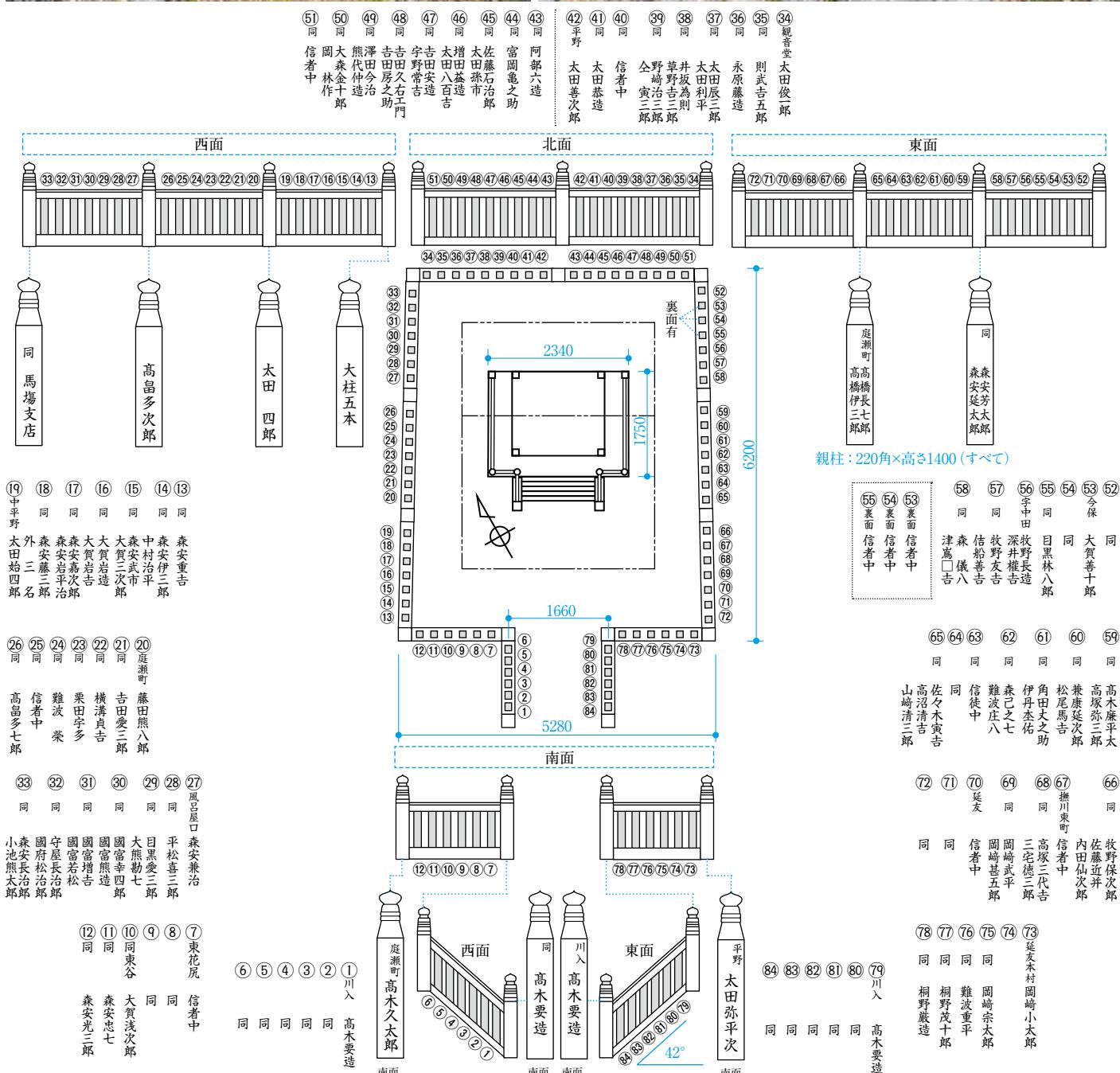
梵鐘



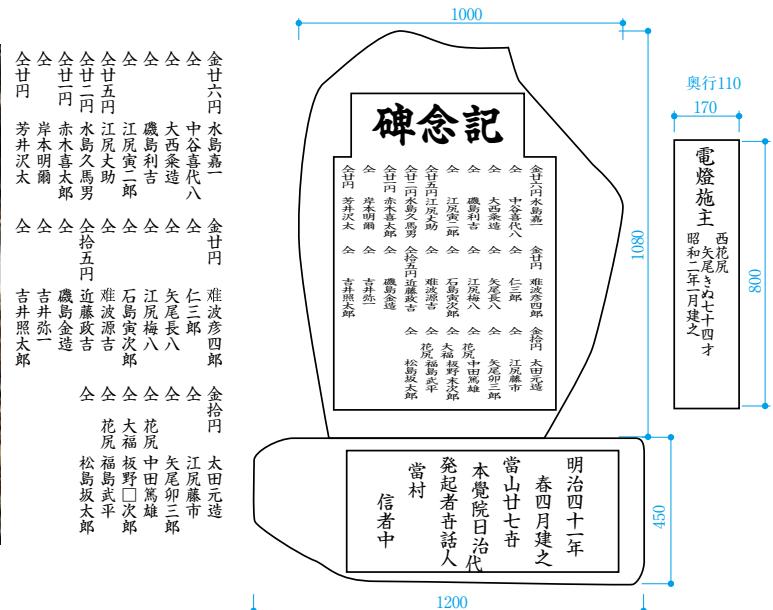
鐘楼



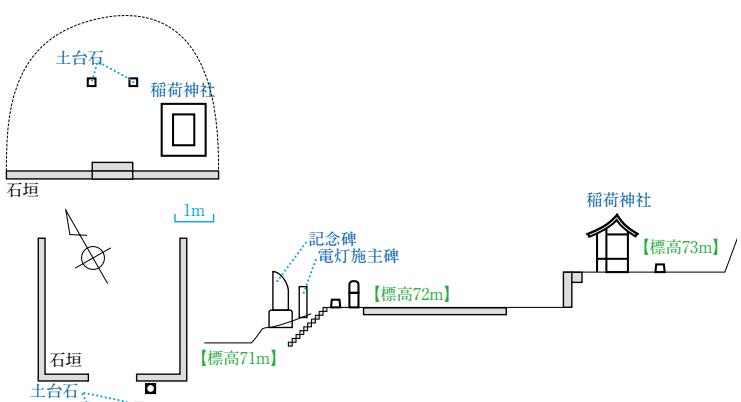
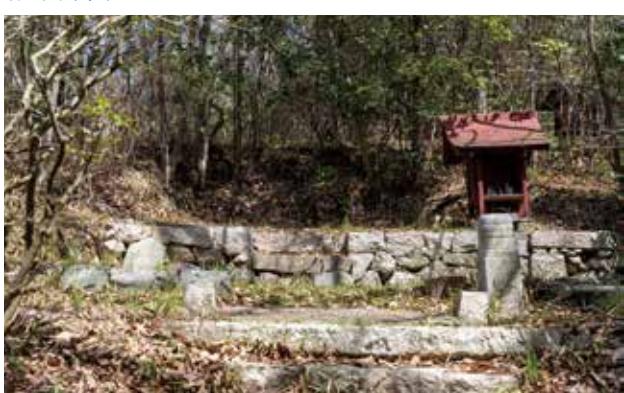
本殿·玉垣



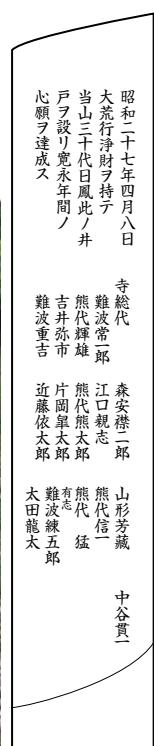
電燈施工主碑·記念碑



稱荷神社 本殿幅580×奥行790×屋根高さ1500



井戸碑 幅230×奥行160×高さ1300

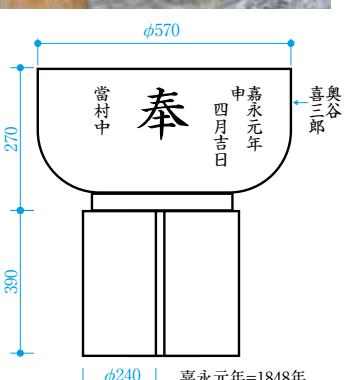


茶舖建立碑

木製建玉屏
幅220×奥行190×高さ1760



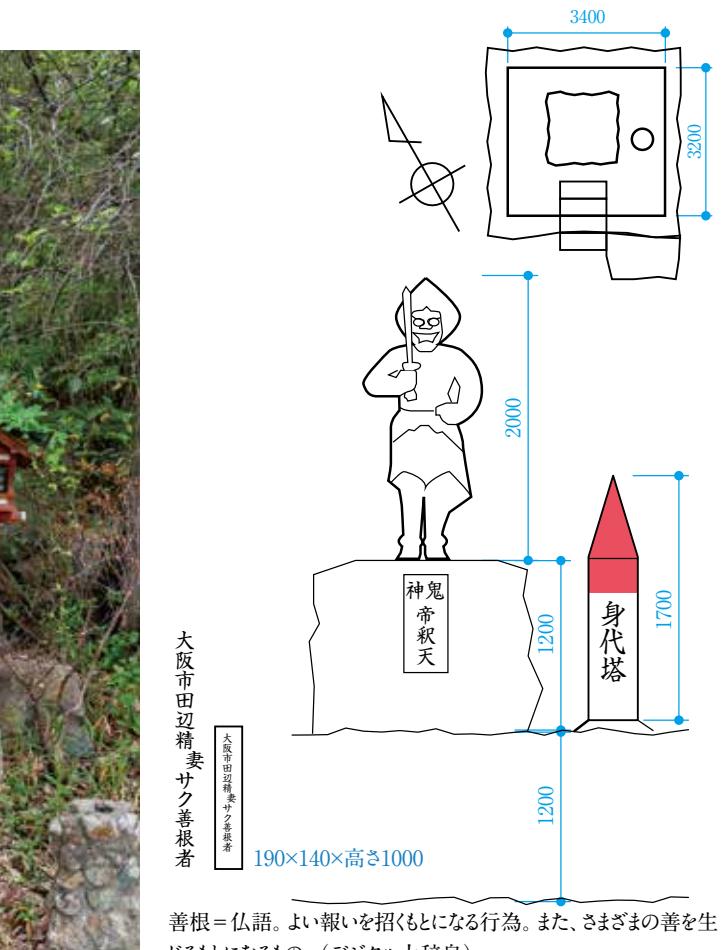
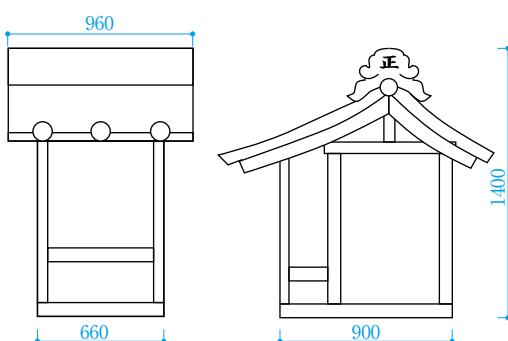
静岡 竹茗堂茶舗建立



鬼神帝釈天の露座立像



自吉龍王



幅190×奥行140×高さ1540

自吉龍王=自吉龍王大善神

愛知県名古屋市東区の長壽山本住寺で祀られている龍神で、五行思想における「五龍神」の一柱、西方を守護する白龍神として信仰されている。



題目石



親柱② 160×150×高さ500 柱間隔2m



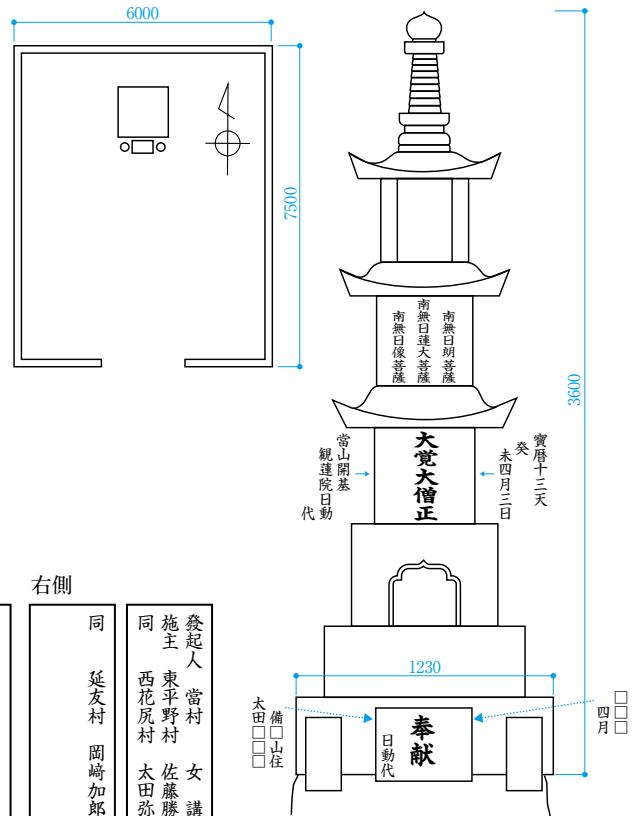
左側

明治廿五年
旧五月吉辰日

同古新田村 小林物平

右側

同	施主	發起人
延友村	當村	女 講 中
岡崎加郎	東平野村	佐藤次郎
	西花尻村	太田弥平治



親柱① 160×160×高さ600 柱間隔2m



左側

奉
寄進
當村
信者中

有側

安政五年戊牛年八月

神社 本殿幅2100×奥行2700×屋根高さ4000



線香台 370×210×高さ350

幟立石柱 130×100×高さ860

世話人



明治三十八年六月建之

